

2005年度

Block 4 テュートリアル課題

課題番号 6

愛想笑い

耳鼻咽喉科 須納瀬 弘

この資料が複製・転載されると著作権侵害となる可能性がありますのでご注意ください。

## シート1

52歳の高木和夫さんは、数年前から人の話しがよく聞き取れずに内容が良く分からないまま愛想笑いをするが多くなりました。最近では音として聞こえるのですが、言葉がはっきりせず、さすがに仕事にも差し支えます。家でもテレビの音が大きすぎると言われて奥さんとけんかになることがあります。

### [抽出を期待する事項]

正常の音受容機構、聴覚路

難聴の種類（伝音難聴・感音難聴・混合難聴）

難聴を起こす疾患

難聴者と周囲との関係

## シート2

子供のころには中耳炎を繰り返していました。学校で水泳の授業の後に両耳から液体が流れることがあり、それ以後は怖くて水にも入っていません。そのころから人よりも聞こえが悪いとは思っていたのですが、成人してからは時々耳の中が湿る程度なのであまり気にとめていませんでした。

### ： [抽出を期待する事項]

中耳炎

耳漏を生じる疾患

中耳炎の自然経過

### シート 3

高木さんは補聴器を購入しようと思い、大学病院の耳鼻咽喉科に行ってみました。担当医師は鼓膜をみてから、高木さんに聴力検査を受けることとCTをとることを勧めました。後日病院に行くと、医師は高木さんに検査結果の説明をしてくれました。

#### [抽出を期待する事項]

補聴器

慢性中耳炎 (所見・病態・治療)

純音聴力検査

語音聴力検査

混合難聴

側頭骨 CT

## シート4

医師は高木さんの鼓膜の穴を小さな綿で塞いでみました。周囲の音が大きくなったことに、高木さんはとても驚きました。この状態でおこなった聴力検査の結果をみながら、医師はこのまま補聴器をするよりも、手術をしてはどうかと提案しました。手術の概略を説明された高木さんは、少し心配な話もされて手術を受けるのは怖いけれど、水泳も自由にできるのであれば考えてみようかなと思いました。

### [抽出を期待する事項]

パッチテスト

味覚検査

補聴器の適応

中耳手術（鼓膜形成術・鼓室形成術）

中耳手術のリスクとメリット